



なつのかも



本校ホームページ
携帯・スマホ用サイト
でもご覧ください。

第194号 (R7. 9. 1)

練馬区立光が丘夏の雲小学校

子供を伸ばす！「探究的な学習」

校長 宮林 伸之

日中はまだまだ厳しい暑さの残る夏の終わりです。子供たちの元気な声が戻ってきて、学校は一気に活気付きました。

夏季休業中は、青少年育成光が丘地区委員会の夏休みの地域パトロールをはじめラジオ体操の推進等、子供たちの安全・安心、健全育成にご尽力いただき感謝申し上げます。改めて「光が丘夏の雲小学校の子供たちは、保護者・地域の方々から守られている」と強く感じました。この感謝の思いを常に胸に秘め、2学期も教育活動を推進してまいります。

さて、夏休みにテレビを見てみると…とても興味深い番組と出会いました。それは、「子どもを伸ばす！『探究学習』小学校…学びの全貌」と題して探究学習に力を入れている小学校3校の実践が紹介されていました。紹介された学校の一つに東京学芸大学附属大泉小学校があります。この学校は、国際バカロレアの初等教育プログラム認定校として実践を積み重ねています。実は、この放送の数日前、この学校に勤務する先生から国際バカロレアの取組について次のように伺いました。

国際バカロレアには、「人類に共通する人間らしさと地球を共に守る責任を認識した国際的な視野をもった人間」を育てることを掲げている。その中で、初等教育プログラム校では、世界の地理的な環境や背景にとらわれない、持続的な価値をもつように選定された、6つのテーマを用いて、教科の枠をこえた探究に児童を導いていくことを目指している。

本校では、日本の学習指導要領に基づいた教科等の学習を行うと同時に、公立小学校での生活科・総合的な学習の時間に代わって「探究の時間」を行っている。

上記のほかにも、6つのテーマの詳細や探究の流れ、探究学習を支える手段の1つ概念的理解など…多岐に渡って先進的な取組について興味深く話を伺いました。

本校は、生活科・総合的な学習の時間を柱として研究を進めています。今年度で3年目となり、探究的な学習のさらなる充実と教科横断的なカリキュラムマネジメントの視点を取り入れた研究を推進しています。先にあげた学校とは、「探究」という点では、共通していると感じています。

研究の成果も現れています。先日、令和7年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。詳細は後日報告いたしますが、児童質問の一部を紹介します。

○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して調べたことを発表するなど学習活動に取り組んでいますか。 **肯定的な回答…90.7% 都比較…+6.4%**

	当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
本校	50.7	40.0	6.7	2.7
東京都	42.5	41.8	12.6	2.9

○5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行ってきましたか。 **肯定的な回答…84.0% 都比較…+4.6%**

	32.0	52.0	14.7	1.3
本校				
東京都	33.0	46.4	17.1	3.2

○5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。 **肯定的な回答…82.7% 都比較…+9.3%**

	34.7	48.0	16.0	1.3
本校				
東京都	32.7	40.7	19.5	5.5 (無回答1.4)

今後も教職員が丸一となって、教科指導の充実はもちろんのこと、生活科・総合的な学習の時間における教科等横断的な学習や探究的な学習の充実を図り、子供たち一人一人のよさや可能性を伸ばす教育を推進します。